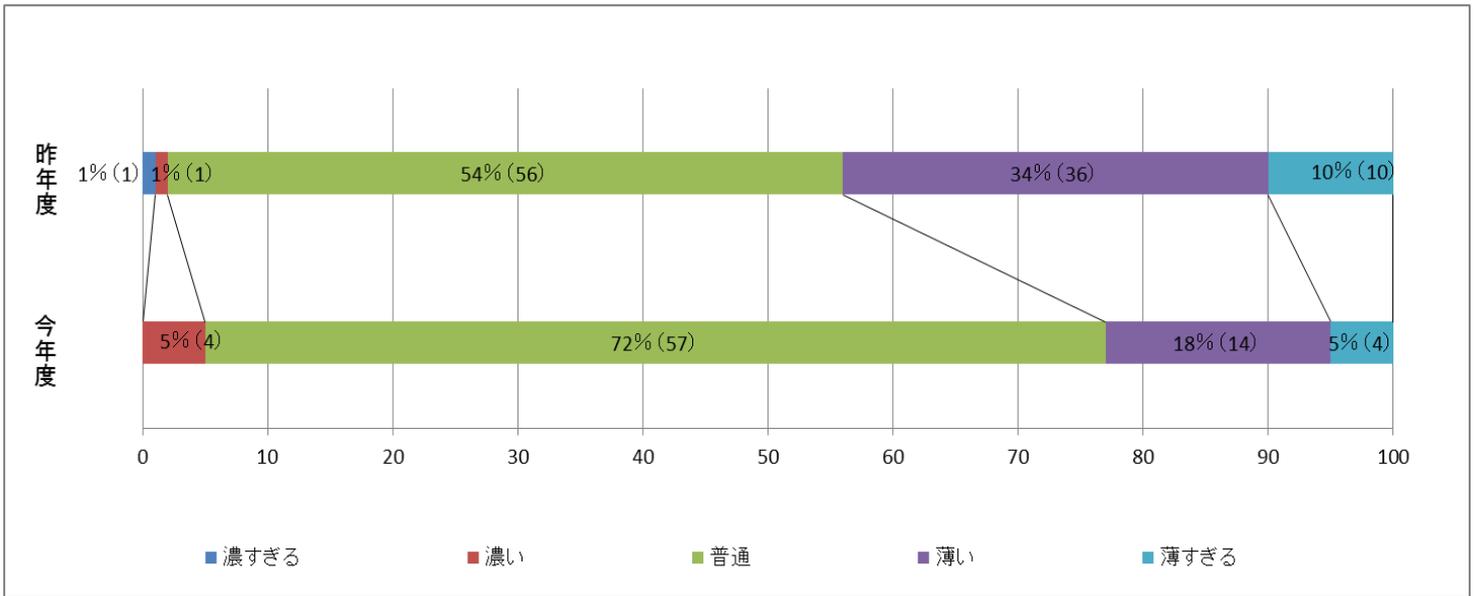


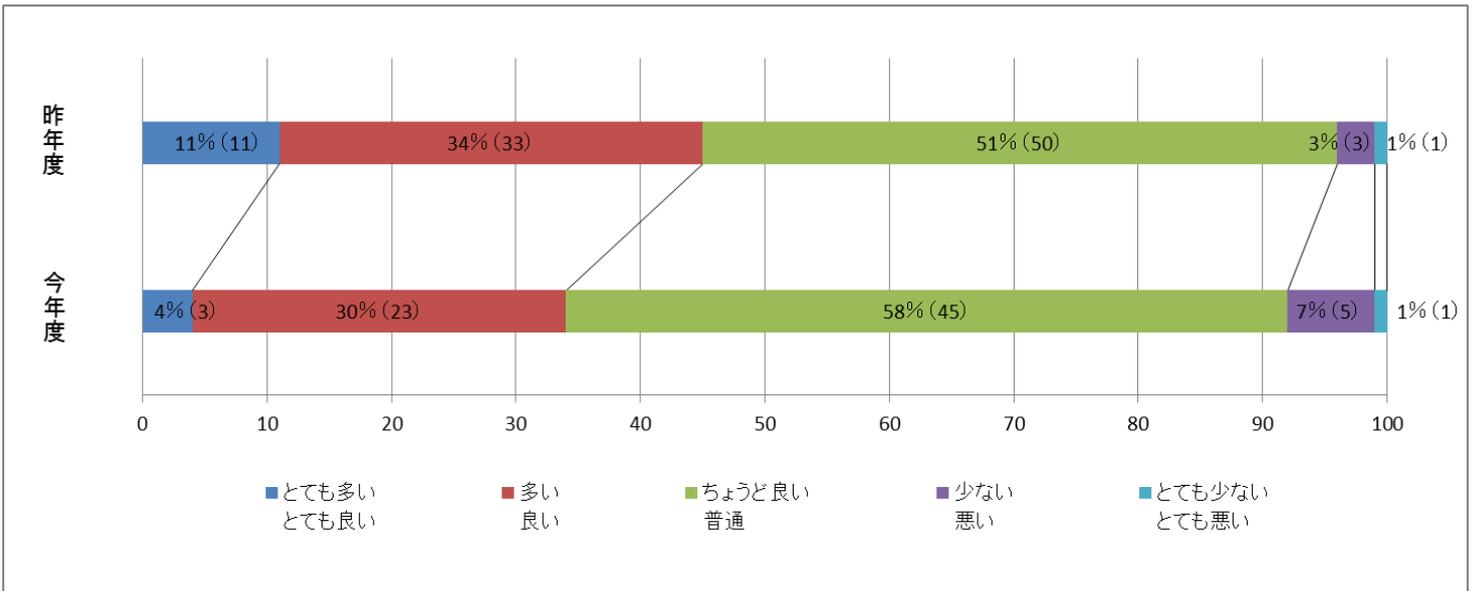
三田市民病院食事アンケート集計結果

1. 食事の味について



味付けが濃いと答えた方が5%と昨年度より増えており、薄い、薄すぎると感じている方が23%と昨年よりも減っている。原因としてはニュークックチル導入によって、調理後、時間経過により味が染みること、加温時に食品の水分が蒸発し、煮詰められて味が濃くなることが考えられる。

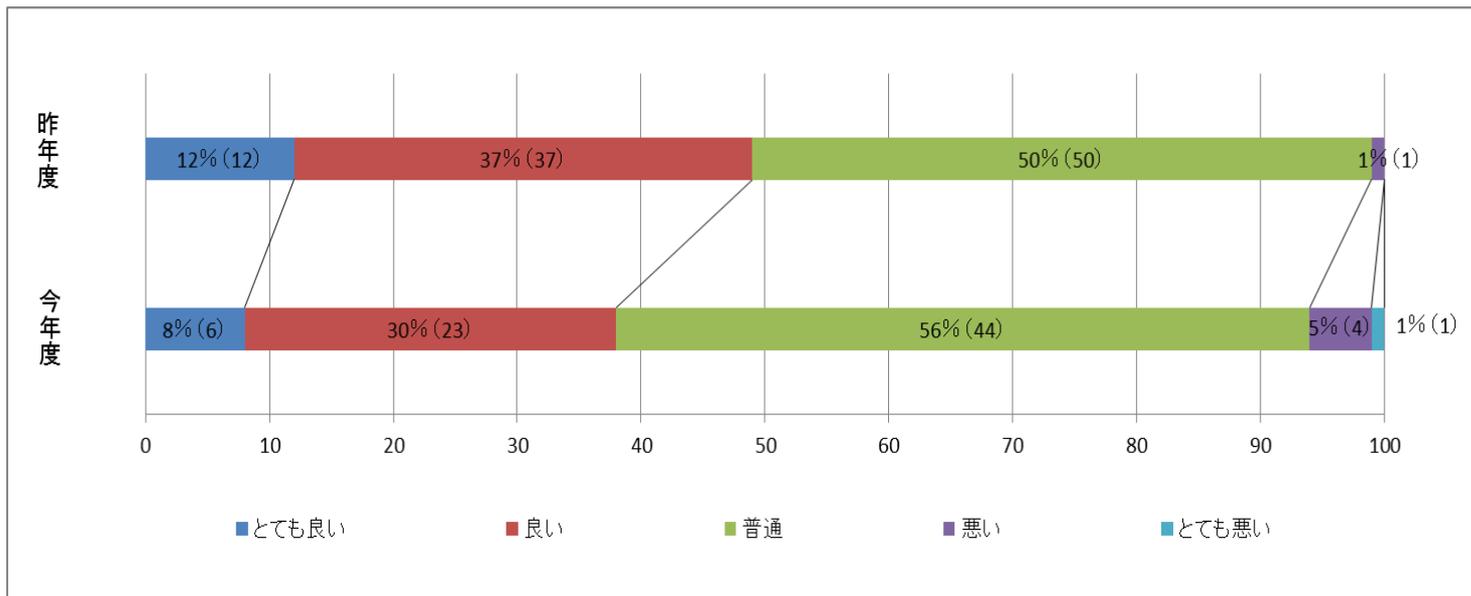
2. 食事の量について



昨年度は普通以上が96%であるのに対し、今年度は92%と若干低下している。

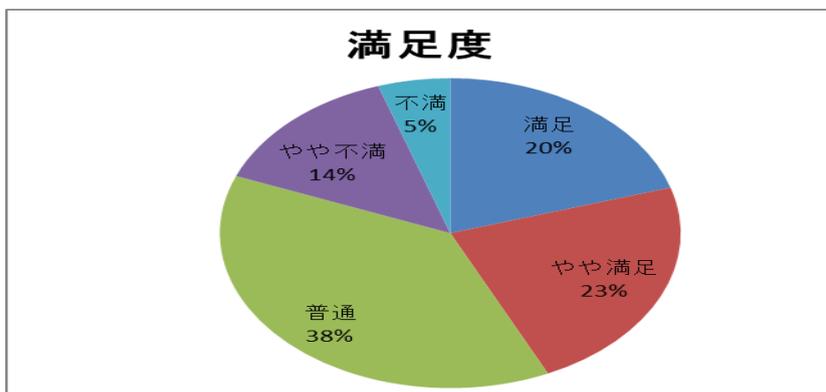
満足度やその他の意見にも「ご飯の量が多い」「おかずが少ない」との記載があり、このことが量への不満の一因と考えられる。

3. 盛り付け、見た目について



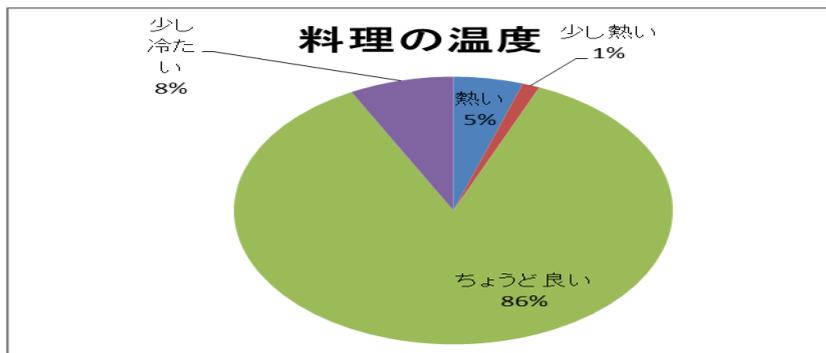
昨年と比較して、とても良い、良いが11%低下し、とても悪い、悪いが4%増加し、昨年度より見た目の満足度は若干低下しているが、普通以上が94%であり特に問題はないと思われる。

4. 食事に対する満足度



満足、やや満足が43%、普通以上が81%となった。満足度が高い理由としては、品数が多い、家庭とは味付けが全く違うので美味しかったなどの意見が見られた。一方で満足度が低い理由は、似たようなメニューが続く、ごはんがかたい、ごはんが多いとの意見が目立ち、おかずが少ない、味が同じとの意見が見られた。

※参考



ちょうど良いが86%を占めている。提供直前に加熱する方式となり、概ね適温で食事の提供ができていないのではないかと考えている。

調査について（対象者：救急重症病棟、新型コロナ対応病棟を除く病棟での喫食者）

前年度：令和2年11月16日昼食時 配布162名、有効回答数102名、回答数63.0%

今年度：令和3年6月25日昼食時 配布151名、有効回答数79名、回答数52.0%